

「六甲山の災害展」の実施結果について

1. 開催内容

(1) 開催時期

平成 22 年 6 月 15 日（火）～ 27 日（日）

(2) 開催場所

人と防災未来センター 西館 1 階ロビー（無料ゾーン）

(3) 展示内容

- ①六甲山系の土砂災害（パネル）
- ②災害に強い森づくり（パネル）
- ③グリーンベルト事業（パネル）
- ④土石流モデル実験
- ⑤降雨体験装置
- ⑥山の保水力実験

2. 来場者

(1) 傍聴者数

- 2 週間（12 日間）にわたり、総計 3,733 人に対して土石流モデル実験等の説明を行った。
- 一日あたり最大 700 人(6/25)に対して説明を行った。
- 昨年はインフルエンザの影響のため少なかったが、昨年に比べ 355 人の増加が見られた。

※ 本データは土石流モデル実験等の説明者による概算を整理したものであり、パネル展示のみを傍観した来場者は含まれない。

※ グラフの合計は 3,733 名である

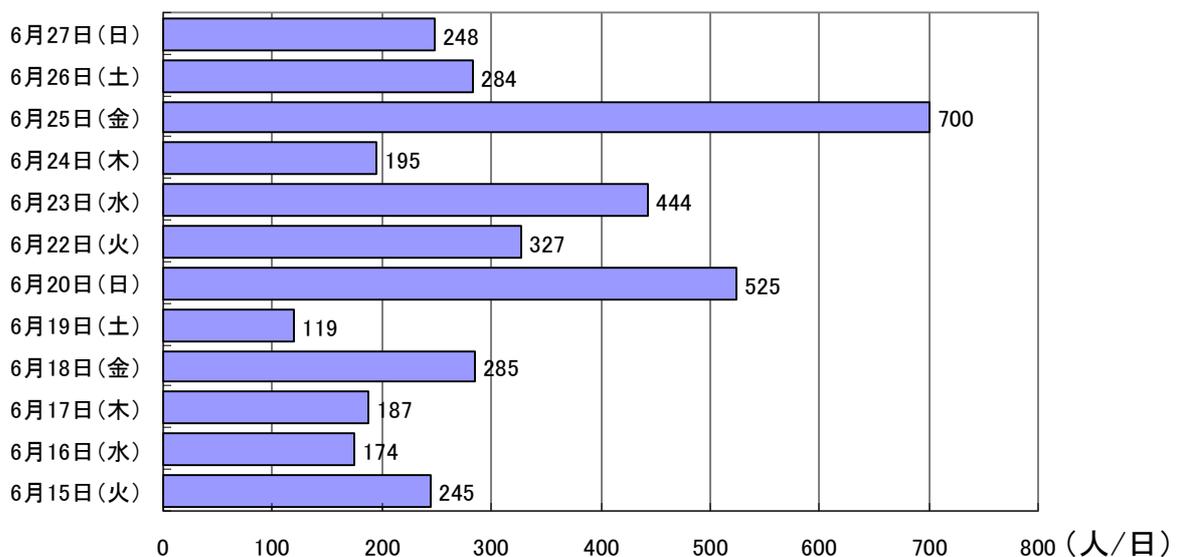


図 1 日別傍聴者数

(2) 来場者数（予約来場者）

- 一日あたり平均約 560 人の来場者数があり、昨年度と比べ 2 割増加した。
- 来場者数に対して、平均約 60%の割合で土石流モデル実験等の説明を行った。
- 予約者数のうち、大人と学生の割合はおよそ 60 : 40であった。
- 県内からの来場者が約 15%、県外からの来場者が約 85%であり、県外からの来場者が圧倒的に多い。

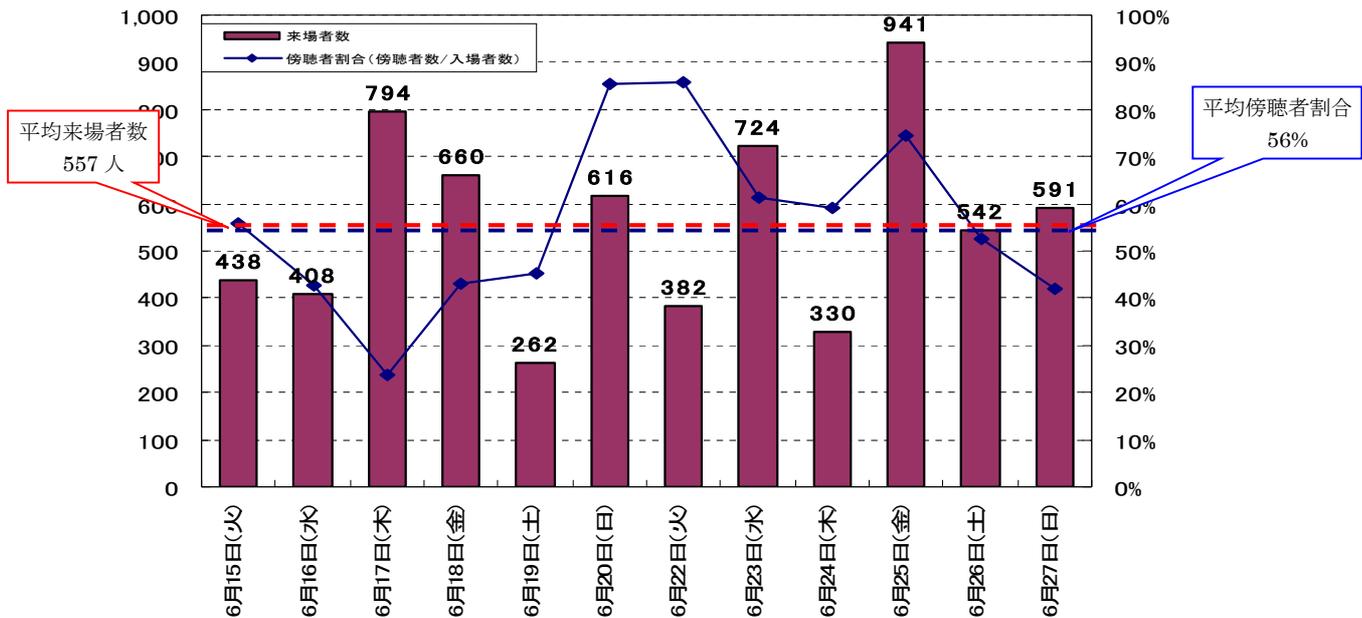


図2 日別来場者数と傍聴者割合

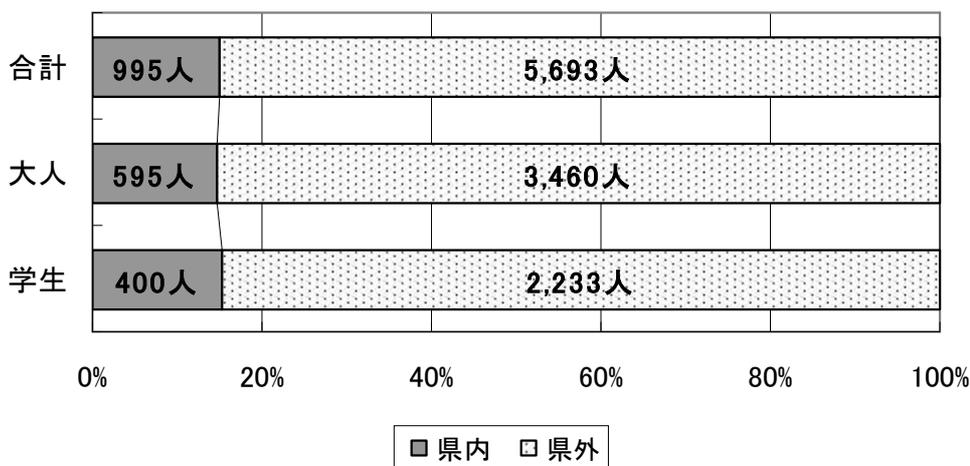


図3 県内外割合

3. アンケート結果

本アンケートの回答数が198枚であり、傍聴者に対して5.3%から得たアンケート結果をもとに本災害展の結果を分析した。

(1) 傍聴者の属性（アンケート回答者）

- 県内の傍聴者は1割強であった。
- 年齢で分類した場合、高齢者が4割強と最も多く、続いて成人（18歳～60歳）が4割弱であった。
- 職業で分類した場合、主婦が最も多く、続いて学生が多い。

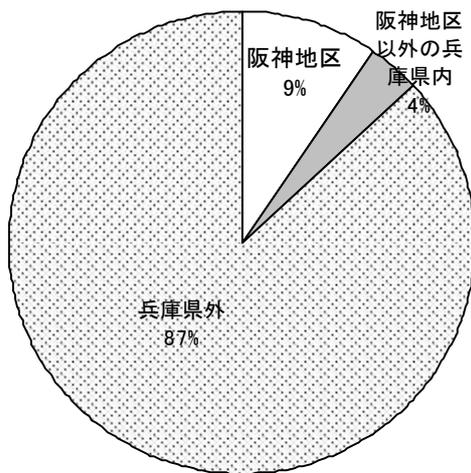


図4 傍聴者の居住地

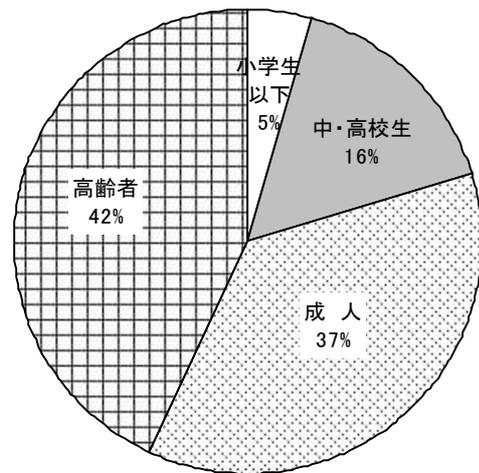


図5 傍聴者の年齢

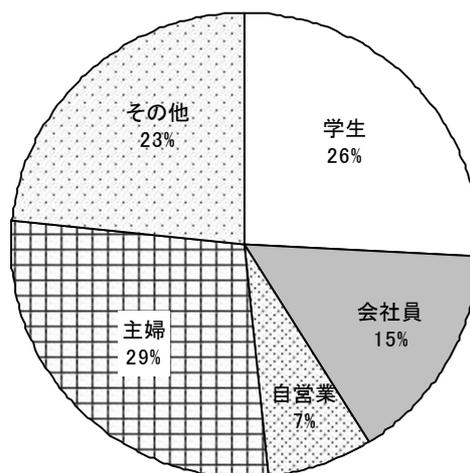


図6 傍聴者の職業

(2) 広報

- 本災害展を知らずに来場する人が全体の約4割を占めた。
- 記者発表による新聞や雑誌によるものが18%で、広報としては最も効果的であった。
- 口コミおよびその他の一部では、学校の先生がホームページ等で確認を行い、学生に伝達したものと考えられる。

※ 本災害展に係る広報内容は以下のとおりであった。

- 記者発表（資料配付）→NHK、サンテレビ、ジェイコム、神戸新聞からの取材あり
- ホームページ掲載（人と未来防災センターHP）
- 県民だより ひょうご（地域版）

※ 質問内容：「災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？」

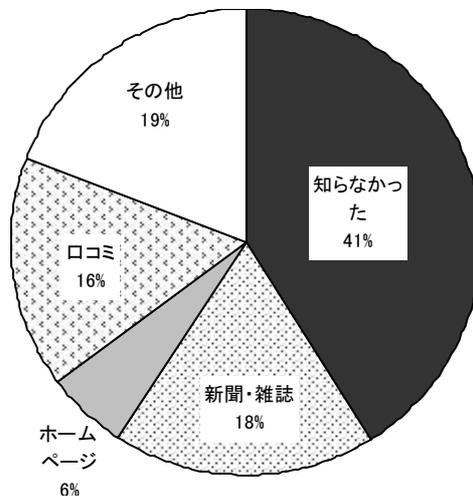


図7 来場のきっかけ

(3) 災害展の効果

① 展示別の好感度

■ 印象に残った展示として、『土石流実験装置』『震災関連パネル』が上位をしめ、好評であった。
 ■ 各種実験装置とパネル展示が5割ずつであり、ともに関心が高かったことが分かる。

※ 本回答は複数回答可能な質問をまとめたものである。

※ 質問内容：「印象に残った展示は次のうち、どれですか？」

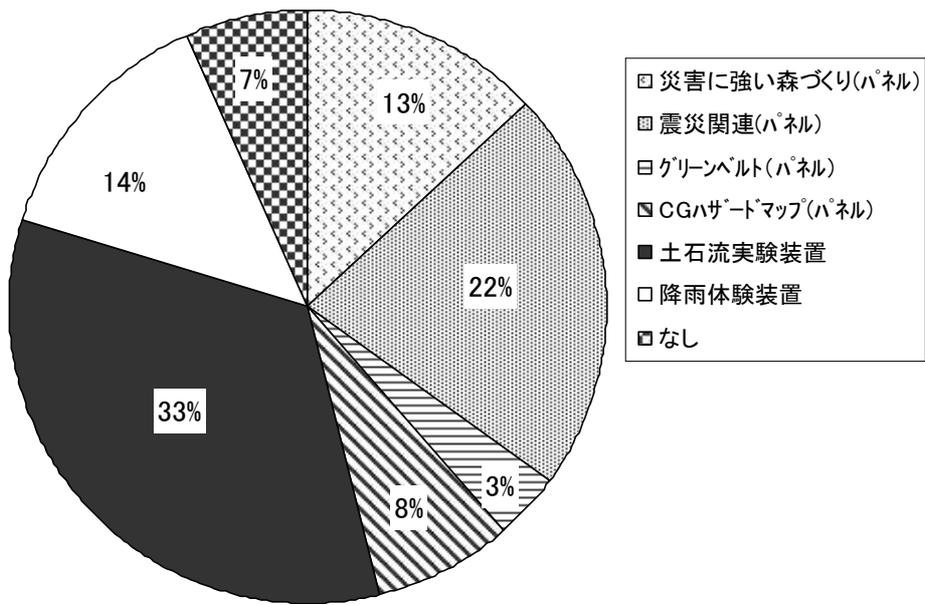
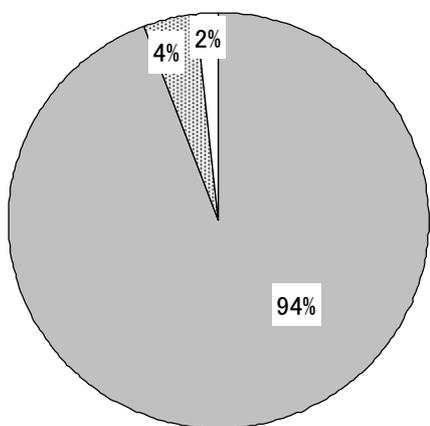


図8 展示別の好評展示物

② 災害展の影響

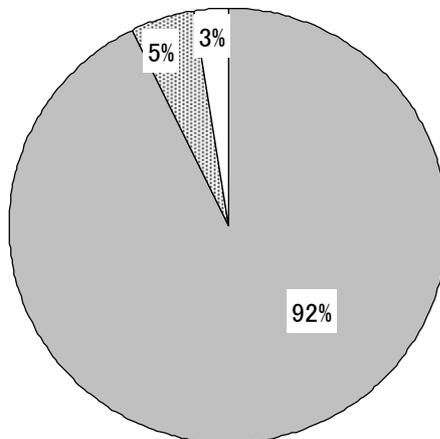
■ 災害展の第1の目的である「災害に対する恐怖の再認識」「防災意識の向上」は概ね達成されている。
 ■ ただし、本災害展のみによるものではなく、人と防災未来センターの展示効果とが相まった結果と考えられる。

※ 質問内容：「災害の怖さを再認識しましたか？」 「あなたの防災に対する意識は向上しましたか？」



□ 怖さを再認識した □ 変わらない □ わからない

図9 怖さの再認識度



□ 防災意識が向上した □ 変わらない □ わからない

図10 防災意識の向上度

(4) 自由意見（主なもの）

①要望

- もっと多くの人々に知ってほしい。子ども達に教えてあげる努力をしてほしい。
- 土石流装置はビデオ放映で考えては？
- 災害復旧後の現在の比較写真を見たい。

②感想・意見

- 災害のこわさをあらためて感じた。
- 災害は一体何時起こるかわからないので、普段から危機意識を持って生活しなければならな
いと感じました。
- 自然災害はこわいと思いました。
- 土石流模擬実験では、実際の家の事を考えながら見ました。
- ダムを作る事であんなにも被害を減らすことが出来、少しでも多くの家や命が守れるのであ
れば、もっと様々な場所でたくさんできれば良いなと思いました。
- 自然と調和の重要を感じた。
- ダムがあるのとないのとで全然違うのでびっくりしました。ダムこわれないう頑張ってく
ださい。
- 雨は一気にふったら土石流が早くなるので、怖いと思った。
- 保水の重要性がわかります。
- ダムは作ったほうがよいことがよくわかりました。
- 雨は危ないと思った。
- 大変おそろしい。防災知識をみにつけなければならないと思った。
- 雨がたくさん降ると怖いなと思いました。
- 防災意識を高めることが大切
- 間伐や森林増やして欲しい
- スリットダムの構図が良かった。
- 川の事では昨年の都賀川の事を思い出しました。
- 普段あまり目にする事、体験することのない事を学ぶことができ、とても勉強になりました。
- 実際に模型を見たのでとても分かりやすかったです。レスキュー隊員になります。
- 展示の所で、実験等を説明していただき、とてもよく理解できました。ありがとうございました。

④その他

- パネルが小さいような気がしました。

※震災関係の感想と思われるものは省いています。

以 上

平成22年度 「六甲山の災害展」アンケート

本日は、「六甲山の災害展」をご覧頂きありがとうございました。
よりよいイベントにしていくため、アンケートにご協力ねがいます。
当てはまるものを○で囲んで下さい。

1. **本日は、どちらから来られましたか？**
①神戸・阪神地区 ②兵庫県内（神戸・阪神地区以外） ③それ以外
2. **あなたの年齢を教えてください。**
①12歳以下 ②13歳～18歳 ③19歳～60歳 ④61歳以上
3. **あなたの職業を教えてください。**
①学生 ②会社員 ③自営業 ④主婦 ⑤その他
4. **災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？**
①知らなかった ②新聞・雑誌 ③ホームページ ④口コミ
⑤その他（ ）
5. **展示の内容で、印象に残ったものはありますか？**
(複数でも結構です)
①（パネル）災害に強い森づくり ②（パネル）震災などの災害写真
③（パネル）グリーンベルト事業 ④（パネル）CGハザードマップ
⑤土石流模擬実験 ⑥降雨体験装置 ⑦保水力実験装置 ⑧特になし
6. **災害展を見て、災害の怖さを再認識しましたか？**
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
7. **災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？**
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
8. **災害展を見た「感想」や「改善すればよいこと」など、何でも結構なので教えてください。**

()

※記入できない場合は、裏面に記入してください。

ありがとうございました。貴重なご意見を参考にさせていただきます。

◇兵庫県 農林水産部 農林水産局 治山課

◇兵庫県 神戸県民局 神戸農林水産振興事務所 六甲治山事務所